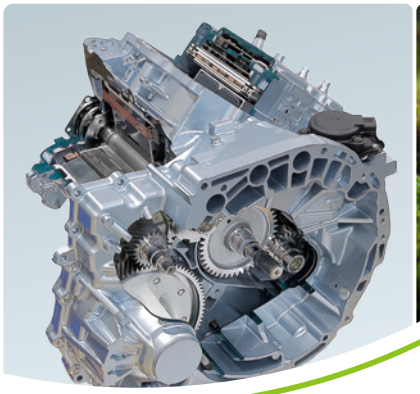

JATCO Sustainability Report 2026

ジヤトコ サステナビリティレポート

2026

Jatco

**編集方針**

当サステナビリティレポートは、お客さま、従業員、ビジネスパートナー、地域社会などジヤトコのすべてのステークホルダーを対象としています。ジヤトコのサステナビリティ活動への継続的な取り組みをご理解いただくとともに、みなさまからのご指摘を新たな課題発掘への手がかりとし、今後の取り組みに生かしていく予定です。ご一読いただき、忌憚のないご意見、ご感想をお寄せいただければ幸いです。

<アンケート>
https://forms.office.com/r/32KDqbwgJn?origin=lprLink

**参考ガイドライン**

「GRI（Global Reporting Initiative）スタンダード」

**報告対象期間**

2025年4月～2026年3月まで

**報告対象範囲**

ジヤトコ株式会社および国内・海外連結子会社を対象としています。

**報告サイクル**

年次報告として毎年発行（前回は2025年10月）

**発行年月**

2026年10月

**発行責任部署および問い合わせ先**

経営企画・広報部
https://www.jatco.co.jp/inquiry/agreement_other.html

# 目次

CEOメッセージ 3

**ジヤトコについて**
企業情報 5
企業理念 6
価値創造のあゆみ 7
目指す姿 8
コア技術 9
モノづくりの考え方 10

**サステナビリティマネジメント**
ジヤトコのサステナビリティ 14

**環境：持続可能な地球環境への貢献**
環境マネジメント 19
脱炭素化の推進 24
クルマの電動化への貢献 28
循環型経済の構築 31
大気・水資源・土壌保全 34

**事業：モノづくりを活かしたモビリティ・イノベーション**
移動の可能性を拡げるソリューション 38
エネルギー効率の追求 40

**社会：地域社会との共生および発展への貢献**
コミュニティの発展 42
社会貢献活動 43

**人的資本：ダイバーシティの推進と社員の幸福の向上**
ダイバーシティ&インクルージョン 46
人財育成 47
労働安全衛生 50

**事業基盤：誠実な経営と事業基盤の強化**
信頼される品質 57
人権 60
持続可能で責任ある調達 61
ステークホルダーエンゲージメント 64
ガバナンス・法令遵守・コンプライアンス 65
災害対策（物理的ハザード） 68
情報セキュリティ 70

**データ**
社会性データ 72

**GRIスタンダード対照表**
GRIスタンダード対照表 74

# CEOメッセージ

## サステナビリティ経営を通じて、人々の、社会の、地球の未来に貢献します

近年、気候変動の深刻化や地政学的リスクの高まりなど、企業を取り巻く環境は大きく変化しています。これまでの常識や過去の経験だけでは将来を見通しにくい時代だからこそ、企業には、社会課題の解決と持続的な成長を両立する責任がこれまで以上に求められています。

ジヤトコは「技術と情熱でモビリティの可能性を拡げる」というコーポレートパーパスのもと、持続可能な社会の実現と企業の成長を両立するサステナビリティ経営を推進しています。その実現に向けジヤトコとして取り組むべき優先課題として、18項目のマテリアリティ（重要課題）を定めています。本メッセージでは、その中でも特に重要と考える取り組みの電動化、資源循環、そして人財についてお伝えします。

まずは自動車の電動化への貢献について、当社は2033年までに電動車両向けユニットの年間生産台数500万台を実現する目標を掲げています。2025年度には、日産自動車株式会社と共同開発した電動パワートレイン「X-in-1」の量産を開始しました。今後も安定した量産体制を構築し、高い性能と品質を通じてお客様の競争力向上に貢献するとともに、電動車の普及を支えることで脱炭素社会の実現に寄与してまいります。

また、自動車の電動化に加え、資源循環も持続可能な地球環境への貢献に向けた重要な取り組みです。自動車産業は、従来の大量生産・大量消費型の経済から、資源を有効に活用する循環型経済への転換期を迎えています。当社はこれまでも、製造工程における廃棄物の削減や再資源化に加え、リマニファクチュアリング事業をはじめとする製品・部品の再製造を通じて、資源循環に取り組んできました。今後は、サステナブル材料の活用拡大や、リユース、再製造、リサイクルを組み合わせた循環の仕組みをさらに発展させ、パートナーとの共創による新たな価値の創出を目指します。

一方、気候変動への対応には、自動車の電動化に加え、製品のライフサイクル全体を通じた環境負荷の低減が欠かせません。その実現には、新たな技術開発とイノベーションが必要です。私は、こうした大きな社会課題に正面から向き合うことが、新たな価値創造につながると確信しています。ジヤトコは、長年培ってきたものづくり技術とエネルギーマネジメント技術を活かし、社会課題の解決につながる新たな価値と技術の創出に挑戦し続けます。

そして、これらすべての挑戦を支えるのは「人財」です。事業環境が変化する中で一人ひとりが主体的に考え、挑戦し、多様な価値観を尊重しながら成長できる組織づくりが、新しい時代の価値創造につながります。あわせて当社は、従業員の心身の健康と将来を見据えたウェルビーイングを、持続的な成長を支える重要な経営基盤と捉え、健康経営を推進しています。2019年から8年連続で「健康経営優良法人（ホワイト500）」に認定され、2024年から2026年の3年連続で健康経営度調査の最上位である1位から50位の評価をいただいています。従業員が安心して能力を発揮し、活き活きと挑戦できる環境づくりを進めることで、企業としての活力を高めていきます。

ジヤトコはこれからも、サステナビリティを事業活動の中核に据え、社会課題の解決を新たな価値と成長につなげていきます。技術と情熱を結集し、人々の暮らし、社会、そして地球のより良い未来に貢献してまいります。

ジヤトコ株式会社　代表取締役社長兼CEO
佐藤 朋由